

2026年度新設

相模女子大学 学芸学部 国際コミュニケーション学科
高大連携企画講座

国際バカロレア 教育・研究・教員養成のいま —DPとCPに焦点を当てて—

相模女子大学 国際コミュニケーション学科（2026年度新設）では、世界で通用する教員養成の実現をめざしています。本講座では、IBディプロマプログラム（DP）、キャリア関連プログラム（CP）に関心のある方、そしてIBの教員養成に関心のある方を対象として、参加者の皆さん同士による交流も交えたセッションを実施します。

2026年 先着100名・事前申込制
参加費無料

3月14日 土

13:00-16:30（12:40開場）

場所：相模女子大学 7号館711教室

【対面・オンライン（ハイブリッド開催）】

プログラム

13:00 開会

13:05-13:35 『国際コミュニケーション学科における世界基準の教員養成』（赤塚祐哉・相模女子大学 専任講師）

13:35-13:55 『教員養成課程及びゼミナールでの学び』（浦野真祐子・相模女子大学 4年、2026.4よりIB認定校勤務）

13:55-14:35 『DP・CP併設校での自然科学の授業- 高大接続を見据えて-』（深田陽平・長野日本大学高等学校 教諭）

14:35-15:15 『大学におけるIB教員養成』（木村光宏・岡山理科大学 IB教員養成プログラム コーディネーター）

15:15-15:35 参加者同士による交流セッション

15:35-16:25 『パネルディスカッション- IB教育・研究・教員養成の課題と展望』（赤塚祐哉・深田陽平・木村光宏）

16:30 閉会

お申込みはこちら

<https://forms.gle/GzESXYkx8kCGV7tv9>

お申し込みの受付は

3/10（火）まで



※対象：国際バカロレア教育に関心のある
学校教員、研究者、大学生、大学院生等



赤塚 祐哉

公立・私立学校教員を経て現職。博士（教育学）。日本国際バカロレア教育学会副会長。主な著書に『国際バカロレアの英語授業－世界標準の英語教育とその実践』（松柏社、2018年）ほか。



深田 陽平

長野日本大学高等学校 教諭。博士（農学）。専門は生物資源保全学、ゲノム生物学、多様性生物学。日本国際バカロレア教育学会 学会誌編集委員・大会組織委員を務めている。



浦野 真祐子

相模女子大学4年生。2026.4よりIB認定校で勤務予定。在学中に環太平洋応用言語学会 Selected Paper “Promoting Thinking Skills in EFL: Perceptions and Practices of Secondary Teachers” (Urano, 2024 et al.) 掲載（査読付）（共著）



木村 光宏

JICA青年海外協力隊（ザンビア派遣）、神奈川県高等学校教諭・ディプロマプログラム（DP）コーディネーターを経て、現職。博士（総合社会文化）。日本国際バカロレア教育学会 学会誌編集委員長。

お問い合わせ

kokusai_swu@mail2.sagami-wu.ac.jp

相模女子大学国際コミュニケーション学科・高大連携企画担当